

施策評価表			後期 «平成28年度～平成32年度»	
計後 画期 体系 基本	政策	6. 住民と行政が共に創るまち【行政】	施策統括課	経営企画課
	施策	19. 将来にわたって持続可能なまちをつくる	関係課	総務課・税務課

### 1. めざそう値からみた達成度

成果指標	単位	基準値	H29目標値	実績値の年次推移	判定
		目標	H29実績値		
将来負担比率	%	3.2	35.2以下		a
		35.2以下	0.0		
実質公債費比率	%	6.6	7.0以下		a
		7.0以下	5.8		
経常収支比率	%	88.0	90.0以下		c
		90.0以下	90.3		
財政調整基金残高	万円	29億8000	17億7000以上		a
		17億7000	33億950		

めざそう値達成度：a…目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない c…目標を達成していない

### 2. 取り組み方針の実施状況と方向性

19-1 健全な財政運営を行います				所管課						
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位 (57項目中) 健全な財政運営 1位/38位				経営企画課						
成果指標	単位	基準値	目標	区分	実績値の年次推移					判定
					H28	H29	H30	H31	H32	
将来負担比率	%	3.2	35.2以下	目標値	35.2	35.2	-	-	-	○
				実績値	2.1	0.0	-	-	-	
実質公債費比率	%	6.6	7.0以下	目標値	7.0	7.0	-	-	-	○
				実績値	5.2	5.8	-	-	-	
経常収支比率	%	88.0	90%以下	目標値	90.0	90.0	-	-	-	×
				実績値	92.8	90.3	-	-	-	
財政調整基金残高	万円	29億8000	17億7000以上	目標値	17億7000	17億7000	-	-	-	○
				実績値	33億550	33億950	-	-	-	
町税収納率	%	94.35	→	目標値	94.35	94.35	-	-	-	○
				実績値	95.17	95.80	-	-	-	

成果指標達成度：○…目標を達成している ×…目標を達成していない

成果指標総合判定：A…成果指標判定がすべて○、B…半数以上が○、C…半数未満が○

成果指標総合判定
B

まちが取り組むべきこと①		施策別総枠配分予算編成を継続し、経費の削減につとめます
主な取り組み状況	・各課から出されていた意見に対応するために、経費区分等の見直しや予算見込額の算出等の見直しを行いつつ、施策別枠配分予算編成を継続した。	
課題	・前年度の予算額を基準とし、施策の優先度に応じて財源の配分を行ったが、予算配分が要求額を下回る施策が出たため最終的には予算復活したことや、プラス配分された財源の活かし方等に課題があり、実質的な経費の削減につながったか疑問が残る。	
H31取り組み方針	・枠配分予算編成の方法の再度の見直しを検討し、より実効性があり、経費の削減につなげることができる予算編成に努める。	
まちが取り組むべきこと②		滞納処分強化や収納の利便性向上をはかり、税収確保につとめます
主な取り組み状況	・財産の差押や搜索による差押動産のインターネット公売を行い、福岡地区合同公売及び糟屋地区合同公売に参加した。	
課題	・滞納繰越分の未収金徴収。	
H31取り組み方針	・財産の差押や搜索による差押動産のインターネット公売など継続して取り組む。 ・滞納整理及び滞納者宅の搜索等、税確保に携わる職員の知識及び技術向上に努める。 ・居住実態等を把握するため、関係課及び関係機関と情報を共有する。	
まちが取り組むべきこと③		ふるさと納税の活用や未利用資産の活用などを行い、税金以外の収入確保につとめます
主な取り組み状況	・ふるさと納税は、楽天の他にも新たなインターネットサイトを利用したことや提供する返礼品を増やすことができ、大幅な増額となっている。しかし、使用料及び手数料の適正化においては、減免事由が多いことや施設利用者の減等により、目標には至っていない。	
課題	・ふるさと納税に関しては、現在の成果が今後も続くとは限らず、総務省からの過度な返礼品や資産性の高い返礼品等に関する是正通知が出されている状況である。使用料の適正化については、使用料を徴収することにより、使用料収入を上回る経費の支出があり、思うように税外収入の確保につながっていない。	
H31取り組み方針	・ふるさと納税に関しては、新たな返礼品の発掘に努めるほか、返礼品によらない納税促進も検討する。使用料及び手数料の適正化については、今後も適正な原価把握等に努め、適正な料金設定を検討していく。	
取り組み方針の達成状況		
<input checked="" type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施できず、成果があがっていない		
31年度の取り組み方針の方向性	<input type="checkbox"/> 重点 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

19-2 公共施設等の効率的・効果的な管理運営を行います					所管課					
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位 (57項目中) 公共施設の効率的・効果的な管理運営 39位/31位					経営企画課					
成果指標	単位	基準値	目標	区分	実績値の年次推移					判定
					H28	H29	H30	H31	H32	
成果指標なし										

まちが取り組むべきこと①		「公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設等の最適な配置、管理運営をはかります								
主な取り組み状況		・28年度に策定した計画を推進していくうえで、新たに生み出される公共施設跡地などの公有財産について利用計画を策定する必要があるため、「志免町公有財産活用基本方針」を策定した								
課題		・公共施設の管理に関する基本的なルールづくりや評価の仕組みづくり ・施設ごとの老朽化度合い等を点検により把握する								
H31取り組み方針		・点検により把握した施設現況をもとに個別施設計画を策定し、公共施設等の適切な配置、管理運営を目指す								
まちが取り組むべきこと②		公共施設等の効率的・効果的な維持管理を行うため、施設管理事務の一元化をはかります								
主な取り組み状況		・施設管理一元化に向けた準備として、公共施設マネジメントシステムを導入し、個別施設計画を策定する際の各施設の基礎データを蓄積している								
課題		・専門職の確保								
H31取り組み方針		・引き続き、専門職の確保に取り組みながら施設管理一元化に向けた準備を進めていく								
取り組み方針の達成状況										
<input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施できず、成果があがっていない										
31年度の取り組み方針の方向性				<input type="checkbox"/> 重点 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> その他						

19-3 効率的・効果的な行政運営を行います					所管課					
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位 (57項目中) 効率的・効果的な行政運営 15位/35位					経営企画課					
成果指標	単位	基準値	目標	区分	実績値の年次推移					判定
					H28	H29	H30	H31	H32	
施策ごとの成果指標の目標達成率	%	46.2	↑	目標値	47.6	47.6	-	-	-	×
				実績値	59.0	46.2	-	-	-	
後期基本計画における各施策の進捗率	%	-	100.0	目標値	68.0	76.0	-	-	-	×
				実績値	75.0	70.0	-	-	-	
成果指標達成度：○…目標を達成している ×…目標を達成していない 成果指標総合判定：A…成果指標判定がすべて○、B…半数以上が○、C…半数未満が○										成果指標総合判定
										C

まちが取り組むべきこと①		行政評価を継続し、業務改善による効率的・効果的な行政運営につとめます
主な取り組み状況		・後期基本計画がスタートして、初めての施策評価を行った。取り組み方針ごとに評価を行ったため、それぞれの取り組み状況・課題・今後の方針を細かく把握することができた。 また、事務事業評価点検会を行ったが、コスト削減や重要度の低い事業の抽出ができず、事業を廃止へと導くことができなかった。
課題		・事務事業評価表の精度にバラつきがあることなどもあり、施策の目標達成に貢献度の低い事務事業の見直しや廃止につなげることができなかった。
H31取り組み方針		・事務事業評価の精度を高めることに努めるとともに、施策評価を継続して行い、有効性・効率性の高い施策展開が行えるよう努めていく。
まちが取り組むべきこと②		広域連携による事業を推進するとともに、自治体間で意見交換の場を設けるなど、他自治体との連携体制の強化をはかります
主な取り組み状況		・福岡都市圏で圏域の総合的かつ一体的発展を図るため、福岡都市圏広域行政推進協議会を設置し、都市圏の共通課題についての取り組みを進めている。 また、介護保険や障がい者自立支援、DV等電話相談、ホームページの構築業務、糟屋中南部地域振興等、各業務において、できる範囲で広域連携により事業を実施している。 ・今年度から糟屋地区6町の滞納整理について併任辞令を出し、税等の滞納者宅の搜索や滞納者のファイナンシャルプランナー相談への同席など、関係町間で滞納者対策に共同して取り組んだ。
課題		・都市圏においては、全体で取り組める共通課題がなかなか絞り込めていない。広域連携している業務においては、広域で行うため、単町の意思の反映が難しい面や意思決定に時間を要するという課題がある。
H31取り組み方針		・今後とも現在行われている広域連携事業を継続していくとともに、新たな分野での広域連携の実施を検討していく。
<b>取り組み方針の達成状況</b>		
<input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施できず、成果があがっていない		
31年度の取り組み方針の方向性		<input type="checkbox"/> 重点 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> その他

### 3. 施策の総括と今後の展開

めざそう値「将来負担比率」「実質公債費比率」「財政調整基金残高」は、H29目標値をそれぞれ達成することができた。取り組みとしては、将来にわたって持続可能なまちを目指し、健全な財政運営が行えるよう、各方針に沿った取り組みを実施しているものの、それぞれに取り組み上の課題があり思うような成果があがっていないため、今後も課題克服に向けて取り組むこととする。また公共施設等の効率的・効果的な管理運営については、専門職の配置が望まれるが、現時点では施設現況把握をしたうえで、管理にかかる基本的なルール作りなどに取り組むとともに、施設類型ごとの個別施設計画策定に取り組む。広域連携による事業の推進に関しては、他市町も連携できる事案については連携をという意識が高まってきているので、今後とも継続し、新たな分野にも広げていくよう努める。

### 4. 施策の進行状況

- 目標に向かって順調に進んでいる  
 目標に向かってある程度順調に進んでいる  
 目標に向かってあまり進んでいない  
 目標に向かって進んでいない